

2017年度 幸福の科学学園関西中学校・高等学校 学校評価

本年度の学校目標

- ・「高貴なる義務」を果たす、「徳ある英才」を育てる。
- ・宗教教育によって、神仏を尊ぶ心を培い、感謝報恩の心を持った人材を育てる。
- ・規則正しい生活習慣と学習習慣の確立により、学力向上を目指す。

	領域	重点評価項目	教職員	生徒	学校関係者	総合評価	備考
1	学校経営	学校では、宗教教育を基に神仏を尊ぶ心を培い、感謝報恩の心を持った「高貴なる義務」を果たす人材づくりに努めている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校では、学習活動、学校行事、部活動などで特色のある教育活動が行われている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
2	学習指導	カリキュラムは、生徒の学力・個性を伸ばし、将来の希望を実現するように工夫されている。	B	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、授業の中で教材や教え方に様々な工夫をし、学習する内容をていねいに指導している。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、より高いレベルを目指す生徒へ配慮した教科指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、学習の遅れがちな生徒へも配慮した教科指導を行っている。	C	B	B	B	教職員・生徒・学校関係者
3	生徒指導	学校は、宗教科の授業などで、仏法真理に基づいて、善悪の判断や他人を思いやる心を育てている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒の自立・自律する気持ちを大切に生活指導を行っている。	A	B	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、適切な人権教育を行い、人権が尊重される学校づくりに努めている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒に対して、挨拶・服装・遅刻などの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。	B	B	A	B	教職員・生徒・学校関係者
		学校では、生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
4	進路指導	学校は、生徒の進路目標の明確化に向けた適切な指導を行っている。	A	B	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒に必要な進路情報や資料を収集し、適切に提供している。	A	B	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒に大学進学に向けた実力養成の機会(講習・模試など)を十分に提供している。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、あなたの文系理系の選択や科目の選択について十分に指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
5	特別活動等	体育祭や文化祭(翔龍祭)など、生徒にとって有意義な学校行事を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校の部活動は、顧問の指導の下、活発で有意義な活動になっている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒会活動や各種委員会活動の活性化を図り、学校生活をよりよいものになっている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
6	保健・安全管理	学校は、交通安全・防災・健康教育に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒の安全や健康管理に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、環境美化に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
7	教育環境	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、図書館の整備と充実に取り組み、図書室の利用を生徒にうながしている。	A	B	A	A	教職員・生徒・学校関係者
8	事務・管理	学校は、教育活動に必要な備品、消耗品についての整備をしている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、個人情報の管理を含め、適切な文書管理を行っている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
9	保護者・地域との連携	学校は、地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源を活用し、地域に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	C	—	A	B	教職員・学校関係者
		学校は、保護者の意見を聴き、積極的に保護者会活動を推進している。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、さまざまな機会を通して、地域との連携を深めるように努めている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、文書やメール、ホームページなどによって、学校の情報を保護者や地域の人々に適切に伝えている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者

2017年12月1日(金)～2017年12月20日(水) 教職員、生徒、学校関係者にアンケート形式で実施

評価表の見方 本年度の教育活動に対する総合評価をABCDEFの6段階評価で示す

- ・評価者は教職員・生徒・学校関係者の3者を原則とするが、一部、3者によらない例外も設定されている。
- ・ABCDEFの基準は、アンケートを集約した結果、肯定的な評価(85%以上)=A、(85%未満～70%以上)=B、(70%未満～55%)=C、(55%未満～40%)=D、(40%未満～25%)=E、(25%未満～)=Fとする。

2017年度 学校評価に対する分析・総括および保護者の皆様のご意見に対するご回答

2017年度の学校評価（自己評価・学校関係者評価）に対する分析と総括をさせていただきます。また、学校評価アンケートにおいて、保護者の皆様から様々なご意見・ご要望をいただきましたので、特にご意見の多かった項目をご回答させていただきます。

なお、昨年まではA～Dまでの4段階の評価基準で評価しておりましたが、より詳細に分析するため、A～Fの6段階に変更いたしました。

【分析・総括】

2017年度は全体を通じて、概ね肯定的な評価となりましたが、更なる学園の改善のために教職員自身の自己変革を図ると共に、保護者の皆様や地域の関係者と連携しながら教育活動の充実に努めてまいります。

評価の低かった項目が三つありましたが、一つ目は、「学校は、学習の遅れがちな生徒へも配慮した教科指導を行っている」でした。英数は習熟度別授業を行っていますが、全体としてまだまだ生徒の学習進度にあった指導ができていないと思われます。今後は、各教科で研究を重ね、適正な宿題の出し方や、補講の実施などの工夫をしてまいります。

二つ目は、「学校は、生徒に対して、挨拶・服装・遅刻などの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている」ですが、保護者の皆様から、時折ご指摘を受ける項目です。立派な社会人になるために必要なことですので、宗教教育をベースとして、礼儀、ルールを守ることの大切さ、善悪の判断を今以上しっかりと教育してまいります。

三つ目は、「学校は、地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源を活用し、地域に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる」でした。特別活動（探究創造科）の授業で、神社仏閣や伝統文化に触れる機会を設けていますが、さらに地域の方々と触れ合いを増やしていきたいと思っております。

【ご意見・ご要望】

○子供にもう少し進路や大学受験の情報を伝えてください。

⇒学年集会で全体発信をし、個別の進路面談で情報を伝えていますが、まだ不十分なところもありますので、さらに情報発信に努めてまいります。保護者の皆様も、何かご不明な点があれば、担任に遠慮なくお問合せ下さい。

○どのような宗教教育が行われていて、生徒の人格にどのような変化があらわれたかなどの情報が知りたいです。

⇒当学園では、幸福の科学の教えを基に、生徒の個性を認め、長所を活かした全人格的な教育に努めております。その結果は、学年通信・学級通信やホームページの保護者サイトなどで、さらに積極的に発信するようにいたします。

○子供たちにとって食事は楽しみの一つなので、味付け等もう一段の改善を望みます。

⇒食事を作らせてくださっている（株）ハートフルキッチンさんとは、毎月給食会議を行っていますので、共にさらなる改善を図ってまいります。また、2017年度はハートフルキッチンさんと生徒会との交流の場を設け、生徒からの要望などもお伝えさせていただきました。

○寮に入り、親元から離れているので、子供の様子をもっと教えていただけるとありがたいです。

⇒寮は宗教修行の場であり、基本的な生活習慣を躰ける場でもありと考え、指導しております。保護者メールやホームページの保護者サイトを使って学校生活・寮生活の様子をお伝えしておりますが、生徒は日々成長しておりますので、もう少し普段の様子を担当・寮からご連絡するようにいたします。